

『インターカルチュラル』第8号論文投稿についてお知らせ

日本国際文化学会学会誌編集委員会

委員長 木原 誠

2009年7月31日

『インターカルチュラル』第8号の論文投稿を下記の要領で受け付けます。会員の皆様からの論文投稿をお願い致します。

- 1) 第8号の投稿規定・執筆細則は第7号掲載のものを摘要する。しかし、その一部を改正し、本書に同封するので参照のこと。
- 2) 投稿論文締め切り日を2009年9月30日(必着)とする。
- 3) 投稿論文は以下の宛先に郵送または宅配便で送付する。

提出先: 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

早稲田大学 大学院政治学研究科 都丸潤子 研究室

- 4) 第8号に関する問い合わせ先は、編集委員長木原誠とする。

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄1番地 佐賀大学文化教育学部 木原誠 研究室

電話 0952-28-8293

e-mail [makoto\[at\]cc.saga-u.ac.jp](mailto:makoto[at]cc.saga-u.ac.jp) [at]を@に置き換える

* 9月1日～30日に限り、木原が不在のため、問い合わせ先は一時的に下記とする

都丸潤子 [j-tomaru\[at\]waseda.jp](mailto:j-tomaru[at]waseda.jp) [at]を@に置き換える

- 5) 編集要項の規定により以下の論文等を募集します。全国大会での研究発表の有無に関係なく、投稿は可能です。

論文: 400字詰め原稿用紙50枚以内+欧文要旨(200語程度)

研究ノート: 400字詰め原稿用紙30枚以内

実践レポート: 同上

研究動向: 同上

書評: 5～10枚

- 6) 原稿は原則としてワープロ、パソコンでプリントアウトしたものとする。原稿にはフロッピーディスク(FD)あるいはCDRを添付する。FD、CDRはなるべくテキスト・ファイルとする。完全原稿を提出する。尚、電子メールでの提出も認められるが、その場合には、原稿とFD、あるいはCDRを封書にて、締め切り日までに提出すること。
- 7) 『インターカルチュラル』第8号掲載の論文は、日本国際文化学会研究奨励賞規定により、2010年度研究奨励賞の審査対象となります。

以上

『インターカルチュラル：日本国際文化学会年報』投稿規定

1. 寄稿資格

本会会員の方は自由に投稿できます。寄稿規程並びに執筆細則を熟読の上投稿してください。ただし、会費滞納の場合審査および掲載をしないことがあります。また編集委員会が必要と認めた場合は、非会員にも寄稿を依頼することがあります。

2. 審査

投稿された原稿を掲載するか否かは、別に定める査読規程に基づいて編集委員会で審査の上決定します。なお、原稿（図表、写真、FDなどを含む）は採否に関わらず返却しません。

3. 枚数

枚数（400字1枚計算）には原則として下記の制限を設けます。いずれも本文、図表、注、文献目録等を含めた枚数です。ただし欧文要旨は枚数には含みません。枚数超過の場合、審査対象としないこともありますので注意してください。

論文 50枚以内＋欧文要旨（200語程度）

研究ノート 30枚以内

実践レポート 30枚以内

研究動向 30枚以内

書評 5～10枚

4. 投稿形式

原稿は原則としてワープロ、パソコンでプリントアウトしたものとします。原稿にはフロッピーディスク（FD）、CDRを添付してください。FD、CDRは多くの機種に対応できますが、なるべくテキスト・ファイルで提出してください。校正の段階では誤植以外の修正は認められませんので、完全原稿を提出してください。

5. 校正

校正は著者校正を原則とします。なお、審査制度を設けているので、採用決定後の校正段階での誤植以外の修正は原則として認めません。校正段階で大幅な加筆、修正があった場合、掲載延期および取り消しとなることもあります。また、組み替えなどによって生じる必要経費はご負担いただきます。

6. 欧文要旨

欧文要旨は、大幅な訂正が無いよう、著者校閲を原則とします。大幅な欧文校閲によって生じる必要経費はご負担いただきます。

7. 提出先および問い合わせ

提出先：〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

早稲田大学 大学院政治学研究科 都丸潤子 研究室

第8号に関する問い合わせ先は、編集委員長木原誠とする。

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄1番地 佐賀大学文化教育学部 木原誠 研究室

電話 0952-28-8293 e-mail [makoto\[at\]cc.saga-u.ac.jp](mailto:makoto[at]cc.saga-u.ac.jp) [at]を@に置き換える

* 9月1日～30日に限り、木原が不在のため、問い合わせ先は一時的に下記とする

都丸潤子 [j-tomaru\[at\]waseda.jp](mailto:j-tomaru[at]waseda.jp) [at]を@に置き換える

8. 著者献呈

著者には掲載号を2部進呈いたします。それ以上の部数をご希望の場合は、2割引でお買い上げください。

9. その他

本誌に発表されたものを転載する場合は、編集部にご一報の上、出版物を一部本学会にご寄贈ください。

< 執筆細則 >

1. 用紙指定

プリントアウト原稿は1枚800字詰め（横書き40×20）とします。B5、A4に限ります。感熱紙での提出はご遠慮ください。

2. 構成

- 論文：題名、キーワード、目次、本文、注、参考文献、欧文要旨
- 研究ノート：題名、キーワード、目次、本文、注、参考文献
- 実践レポート：題名、キーワード、目次、本文、注、参考文献
- 研究動向：題名、キーワード、目次、本文、注、参考文献
- 書評：編・著者名、書名、副題、版数、出版地、出版社、刊行年、総頁数、定価を明示

3. 図版

図版は3点までとし、それを越える場合には編集委員会の特別の許可を得るものとします。

特に経費のかかる図版については、その経費を執筆者負担とします。その経費は、編集委員会が確認後、執筆者から発行所に直接支払っていただきます。

4. 欧文要旨（論文のみ）と英文タイトル

論文には欧文要旨（英語、独語、仏語のいずれかで、200語程度）が必要です。欧文要旨は校閲しますので、1行あけて印字し、対応する和訳を必ず付けてください。

また、論文、研究ノート、実践レポート、研究動向には英文タイトルを付けてください。